

福岡県労連

KEN ROREN

ZENROREN

2020

9月号

No.165

発行所 福岡県労働組合総連合
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南
1-9-8 ケイ・アイビル2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822

編集発行
福岡県労働組合総連合

福岡県労連 検索

[定価]
1部10円

ホームページ 単産・単組の専用ページパスワード: kyodaitaifu (9/15~10/30)

第31回定期大会

賃金大幅引き上げ・公務員定数増・社会保障改悪阻止 予算増額の実現で福岡県労連の真価を示そう!

第31回定期大会は、8月30日(日)13時30分より第5博多借成ビルで、新型コロナウイルス感染症予防対策として時間・規模の縮小し、代議員28人、特別代議員1人、傍聴(大会書記)1人、幹事会21人、会計監査さん1人の計52人の参加で開催しました。

自民党・安倍政治により先が見通せない日本



1月の新型コロナウイルス感染症の発生以降、未だに先が見通せない状況となっています。GDPが年率にして27.8%の大幅な減少が見込まれていますが、これは昨年10月の消費税増税により消費が大幅に落ち込み回復していないところに、的確な政策実施が行えなかったためリーマンショックを超えています。

この間自民党政権が進めて来た「社会保障予算削減」「公立・公的病院再編統廃合」「保健所統廃合」により、感染症対策の中核を担うべき機関の弱体化が、コロナ禍からの回復の足かせとなっています。また、労働法制改悪で増大した非正規労働者は自粛要請などにより収入減・失職など、暮らしと仕事が維持できない状況に追いやられてしまっています。

コロナ禍で示された労働組合の価値

このコロナ禍で労働者の団結、労働組合の価値が示されました。県労連の中でも、コロナ禍で使用者と団交・協議を行い安心して働く条件を獲得したエフコープ生協労組、4000件の相談を始め対話を重視し仲間を頼り拡大を進め最高現勢を実現し

大会方針を決定、新役員選出で運動を推進

大会では、福建労からアスベストの取り組みの報告と今後の県政に向けた運動方針の質問に続き、医労連からは公的公立病院再編統廃合反対及びコロナ禍での医療拡充と組織拡大について、年金者組合からは不当判決となった年金裁判の今後の展望が、自治労連から自治体リストラの実態と職員の健康を守ることに住民の命と暮らしを守るため活動推進をする決意、県国公からは定員削減から増員への転換と給与引き下げをさせない人勧への対応、福岡地区労連からは自治体に対して最低賃金の取り組みを進める決意、全印

告、組合結成し団交で解雇撤回を勝ち取った自交総連の報告、郵政ユニオンからは第1回期日が終了した労契法20条裁判の報告と決意が出され、大会議案の補強がされました。新年度役員では山下議長を始め、副議長5人、幹事18人、会計監査2人が信任されました。また、事務局長・副議長を歴任された門馬さんを含め、副議長2人、幹事を4人、会計監査1人の皆さんが退任となりました。皆様には引き続き県労連運動への支援をお願いします。県労連は大会で決定された方針の実現にむけ、質問・補強の発言を踏まえ、引き続き加盟組合・地区労連の皆さんとともに運動の推進を行います。

える大幅減となつてしまいました。この間自民党政権が進めて来た「社会保障予算削減」「公立・公的病院再編統廃合」により、感染症対策の中核を担うべき機関の弱体化が、コロナ禍からの回復の足かせとなっています。また、労働法制改悪で増大した非正規労働者は自粛要請などにより収入減・失職など、暮らしと仕事が維持できない状況に追いやられてしまっています。

役職名	氏名	所属組合
議長	山下 和博	国公福岡県協議会
	内田 大亮	福岡地区労連
	江口 謙二	福岡県建設労働組合
副議長	大迫真理子	九州朝日放送労組
	懸谷 一	福岡自治労連
	永吉 孝一	北九州地区労連
	福山 慶司	福岡県建設労働組合
事務局次長	小川マリ子	エフコープ生協労組
幹事	渡邊 宏	福岡県医労連
	磯田 英実	福岡自治労連
	伊藤 秀紀	エフコープ生協労組
	天津 恭亮	福祉保育労福岡地本
	香川 康夫	JMITU福岡地本
	梶山 邦博	筑後地区労連
	菅 正司	福岡県建設労働組合
	小西 浩子	福岡法律関連労組
	後藤 靖幸	郵政産業労働者ユニオン
	高倉 浩也	国公福岡県協議会
	田中 佑	福岡地区労連
	中村 朗	自交総連福岡地連
会計監査	星野 智英	大牟田地区労連
	藤岡 元気	全印総連福岡地連
	松田 康幸	建交労福岡県本部
	保元 里美	福岡県医労連
	村崎 大智	エフコープ生協労組
	山中 健	福岡県建設労働組合

地方経済の深刻さを反映

最賃Dランク16県すべてが2~3円の引き上げ

2020年の最低賃金改定答申が、47都道府県すべてで出揃いました。その内訳は、9県で3円、14県で2円、福岡県を含む17県で1円の引き上げ答申が出されましたが、7都道府県で引き上げなしの据え置きとされました。特筆すべきは、中央最低賃金審議会が「据え置きが適当」として有額の目安を示さなかったにもかかわらず、40県の地方最低賃金審議会が引き上げを答申し、中でもDランクの16県すべてが2~3円の引き上げを答申したことです。これは、地方の最低賃金の低さが大都市への労働力人口の流出を招き、人手不足を加速させ、購買力を低下させ、地域経済を疲弊させていることへの抵抗であるとともに、東京都との格差縮小をすすめる、地域経済の活性化を図ろうとする姿勢を示したものであり、いかに地方が苦しんでいるかの反映だと言えます。その結果、全国最高の東京都の1013円と佐賀県、大分県、沖縄県など7県の全国最低792円との格差は、221円となりました。

ランク	2020年最賃引き上げ額			
	+3円	+2円	+1円	引上なし
A		埼玉 千葉	神奈川 愛知	東京 大阪
B		茨城 茨城	栃木 長野 富山 三重	静岡県 京都府 岡山県
C	徳島	群馬 香川	宮城 新潟 石川 福井 岐阜 奈良 和歌山 福岡	北海道 山口
D	青森 岩手 山形 愛媛 熊本 長崎 宮崎 鹿児島	福島 秋田 鳥取 高知 佐賀 大分	島根 徳島 香川 高松 愛媛 高知 佐賀 大分	

福岡県の最低賃金は、1円引き上げて842円とする答申が出されましたが、福岡県労連および参加の単産・単組は、842円の引き上げ答申に不服であるとして、福岡労働局長あてに「異議申立書」を提出しました。福岡県労連では今後、12月県議会に向けて意見書採択の陳情に取り組むとともに、ディーセントワーク宣伝行動などを通じて、「全国一律最賃今すぐ1000円、早く1500円に」を求める取り組みを進めていきます。

【談話】安倍首相の辞意表明を受けて

安倍晋三首相が28日、辞意を表明した。辞任を機に、国政が労働者・国民の生活重視の方向へと、遅滞なく転換されることを強く求める。直面する新型コロナウイルス感染拡大への対応は、待ったなしであり、国政停滞はあってはならない。政府・与党には、直ちに臨時国会を開催し、国民のいのちとくらしを守るための政策を議論し、実行することを求める。

2012年12月の第二次安倍内閣発足から約7年8か月にわたる「安倍政治」は、戦争法(安保法制)と秘密保護法の強行、「森友・加計」「桜を見る会」疑惑にみる権力の私物化、情報の隠蔽・改ざん・ねつ造、税と社会保障と労働法制の改悪など、憲法に背き、平和とくらしと経済を傷つけ、庶民に犠牲を強いる悪政を続けてきた。

大企業・富裕層のうけを優先する経済政策「アベノミクス」は、格差と貧困を広げた。年金・医療・介護・生活保護の改悪と2度の消費税増税は、生活破壊と消費不況をまねき、地域経済の停滞を招いた。労働法制に対しては、首相自ら「岩盤規制」と批判し、「ドリルで破壊すると公言した。労働組合と野党のたたかいで、狙いどおりの労働法破壊はさせなかったが、国家戦略特区による規制破壊、派遣法改悪、入管法(外国人技能実習制度)改悪、高度プロフェッショナル制度による労働時間規制破壊、副業・兼業・テレワークをテコにした労働法の適用はずし=フリー

ランス化が進められてきた。最低賃金の地域間格差を放置し、抜本引き上げに背を向けてきた。そのため、平均賃金は長期にわたって下落し、不安定雇用が労働者の4割を占めるに至った。日本は、大企業が莫大な内部留保をため込む一方、貧困層は拡大し、コロナ禍でわずか1か月の休業で生活破綻する人々が多数を占める溜めのない社会となってしまった。こうした事態を招いた首相の政治責任は計り知れない。

安倍首相は、安保法制=戦争法の制定を、国民の大きな反対の声を無視して強行し、改憲・立憲主義破壊を企ててきた。侵略戦争を美化し、過去の歴史に無反省な姿勢は、国内外の批判的となっている。核兵器禁止条約に背を向け、沖縄の民意を踏みにじる米軍いびりの辺野古新基地建設は許されない。辞任を機に、与党には、改憲を断念することを求める。

また、「森友」「加計」「桜を見る会」疑惑、カジノ汚職や買収疑惑など、安倍首相自身と登用した閣僚たちが関わった疑惑は解明されないままである。まじめな国家公務員の命が奪われた事件もある。これらをあいまいにすることは許されない。直ちに事実を説明するよう求める。

2020年8月28日

全国労働組合総連合 事務局長 黒澤幸一



年金裁判の判決を受けて 福岡地裁の不当判決を跳ね返し、 意気高く、前に進もう！

いかんよ貧困・福岡 役員一同

【声明】
さる7月31日、福岡地裁第3民事部(松場佐隆之裁判長)は、私たちが支援する年金減額処分取消請求事件について、原告らの訴えを却下、棄却する不当判決を言い渡しました。

判決は、国際人権規約への理解を欠き、国の裁量を広汎に認め、ただ単に国の主張を後追いつけるだけのものであり、年金生活者国民が置かれた現状を一顧だにしない不当なものです。今回の判決は、全国39地裁、44都道府県5297人でたたかわれている同様の裁判の判決で10例目ですが、他の判決も同様の論理で原告らの訴えを退けています。

現在のコロナ禍の下、多くの年金生活者国民が苦しむ中、年金積立

金管理運用独立行政法人(GPIF)は多額の年金を株式運用につき込んで株価を高い状態で維持させ、その結果一部の株式等を多数保有する高所得者だけが収益を上げています。そうした状況を作り上げてきた数の横暴からなる国会の裁量を尊重し、苦境にあえぐ国民の声を無視する裁判所はもはや憲法の番人としての矜持すら失っているものと云わざるを得ません。もともと、私たちは、裁判所が憲法の番人の立場を放棄するものであっても、広く世論に訴え、裁判官を飛躍させ、法廷内でのたたかいにも勝利しなければなりません。

年金減額処分取消請求事件はひとり年金

生活者だけのたたかいではありません。核兵器問題や地球温暖化問題、そしてコロナ禍が全人類の課題、全国民的課題として克服されなければならぬのと同じように、私たちの社会が持続可能な社会であるために克服しなければならぬ全国民的課題です。

私たちは、今回の不当な福岡地裁判決を跳ね返し、意気高く、前に進もうではありませんか。正論は世論をつかみ、運動とあいまって情勢を変える。

私たち、いかんよ貧困・福岡の役員一同は、このことを会員みなさんにも広く呼びかけ、このたたかいに確信をもって前に進んでいくことを呼びかけるものです。

2020年度「わくわく講座」のご案内

今年も次世代の役員育成のため「わくわく講座」のスクーリングを行います。このスクーリングでは、テキストで学ぶことを補強するため、各章ごと講師作成のレジュメをもとに学び、同時に参加者による意見交換も行います。

- 日程 第1回 9月19日(土) 14時～16時30分(第1章)
- 第2回 10月24日(土) 14時～16時30分(第2章)
- 第3回 11月28日(土) 14時～16時30分(第3章)
- 第4回 12月19日(土) 14時～16時30分(第4章)
- 第5回 1月16日(土) 14時～16時30分(第5章)

■講師 下関市立大学経済学部 関野 秀明 教授

■会場 県労連大会議室

*12月19日は別会場となります。決まり次第ご連絡します。

★問合せ・申込先 福岡県労連

TEL:092-433-1833 Email:info@fuk-kenroren.jp

県原水協青年交流集会

「平和とは何か」 テーマに学習会

8月8日、福岡県原水協青年交流集会実行委員会により「PeaceMeeting2020」が開催され24人の青年が参加。「平和ってなんだろう」をテーマに井下顕弁護士を講師に討論と学習を行いました。

講演の中で井下弁護士は資本主義と戦争の切り離せない構造に恐れ、命を守り、ひとりひとりを大切にすることこそ平和と民主

主義が守られる社会であると強調。また、ほとんどの人権が網羅される日本国憲法を生活に活かすためには、法律で権力を縛り人権を守らせることが必要であり、その法律をつくる政治家を選ぶのは私たち国民であると述べました。

実行委員会は来年の原水爆禁止世界大会への青年世代の参加に向けて、1年を通じて平和学習を企画しています。



講師の井下顕弁護士

全労連第30回定期大会 オンラインで開催 4カ年計画を確認



7月29、30日、全労連第30回定期大会がオンラインで開催され、福岡県労連から山下議長が幹事として、副議長3名事務局2名が代議員として参加しました。2年間の運動方針「新自由主義改革の誤りを正し、コロナ終息後の「憲法が活躍する社会」「8時間働けば暮らせる社会」「全国一律最低賃金アクション

7月29、30日、全労連第30回定期大会がオンラインで開催され、福岡県労連から山下議長が幹事として、副議長3名事務局2名が代議員として参加しました。2年間の運動方針「新自由主義改革の誤りを正し、コロナ終息後の「憲法が活躍する社会」「8時間働けば暮らせる社会」「全国一律最低賃金アクション

7月29、30日、全労連第30回定期大会がオンラインで開催され、福岡県労連から山下議長が幹事として、副議長3名事務局2名が代議員として参加しました。2年間の運動方針「新自由主義改革の誤りを正し、コロナ終息後の「憲法が活躍する社会」「8時間働けば暮らせる社会」「全国一律最低賃金アクション

この本おすすめ

「3000年の叢智を学ぶ」
戦略図鑑

鈴木博毅著 たきれいイラスト
かんき出版/1,760円

近所の図書館のおすすめコーナーに置いてあったこの本が目が止まりました。角ばった漢字タイトルとかわいらしいイラストにインパクトを受けました。

孫子やドラッカーなど、聞いたことのある歴史上の人物たちの38の戦略を図解でわかりやすく紹介した本です。自分たちのことに落とし込める内容は評価がわかれるところだと思いますが、見終わった後に「なんか賢くなった気分になれる」、教養や雑学にはおススメの本です。

(はやしだこういち)

編集後記

県労連事務所界隈は私が子ども時代を過ごした場所です。50数年前、竹下通りはまだ未舗装で、東住吉小学校前にあった自宅から博多駅まで見渡すことが出来ました。周りは空き地や畑があり、春には蝶々を追ってシロツメクサの上を裸足で走りまわり、遊び場に事欠かない地域でもありました。今訪れると子ども時代に広く感じた道路や広場が本当に狭く感じます。人として成長したからそう感じるであれば、これから私がさらに成長して次はどんなに見えるか楽しみにしています。(福)